

鳥取県における野生鳥獣による 梨被害の現状と対策

— 農業共済組合への被害報告(果樹)に基づく調査結果から —

〈調査時期〉 H19年6月28日～10月11日

〈調査者〉 鳥取県農業共済組合連合会

NOSAI鳥取東部・NOSAI鳥取県中部・NOSAIほうき

〈取りまとめ〉 鳥取県農林水産部生産振興課



カラスによる食害



イノシシによる樹皮剥ぎ



クマによる食害(クマ棚)

鳥取県 農林水産部
生産振興課 鳥獣被害対策担当

ー農業共済組合への被害報告(果樹)に基づく調査結果からー

この調査は、県内の果樹共済に加入している農家から、平成19年度に鳥獣被害報告があった果樹園について、被害状況や侵入防止対策の実態について調査を行い、その結果をとりまとめたものです。

〈調査時期〉H19年6月28日～10月11日

〈調査者〉鳥取県農業共済組合連合会

NOSAI鳥取東部・NOSAI鳥取県中部・NOSAIほうき

〈取りまとめ〉鳥取県農林水産部生産振興課

①梨被害の種類

- 被害は主にイノシシとカラスによる。
 - 鳥類(カラス)による被害は食害と落果が発生する。
 - 獣類(イノシシ・クマ、他)による被害は、食害並びに根の掘起しや枝折り等が発生する。
 - (食害以外であっても、果樹木の樹勢の減退や枯死等に繋がる)

⇒鳥害と獣害の両方の対策が必要

【有効な侵入防止対策の事例】

〈カラス〉側面はネット(漁網など)、上はテグス張り(透明や黒っぽい色)
〈イノシシ・クマ〉シシ垣くん(猪・熊タイプ)、ワイヤーメッシュ柵と電気柵の複合柵

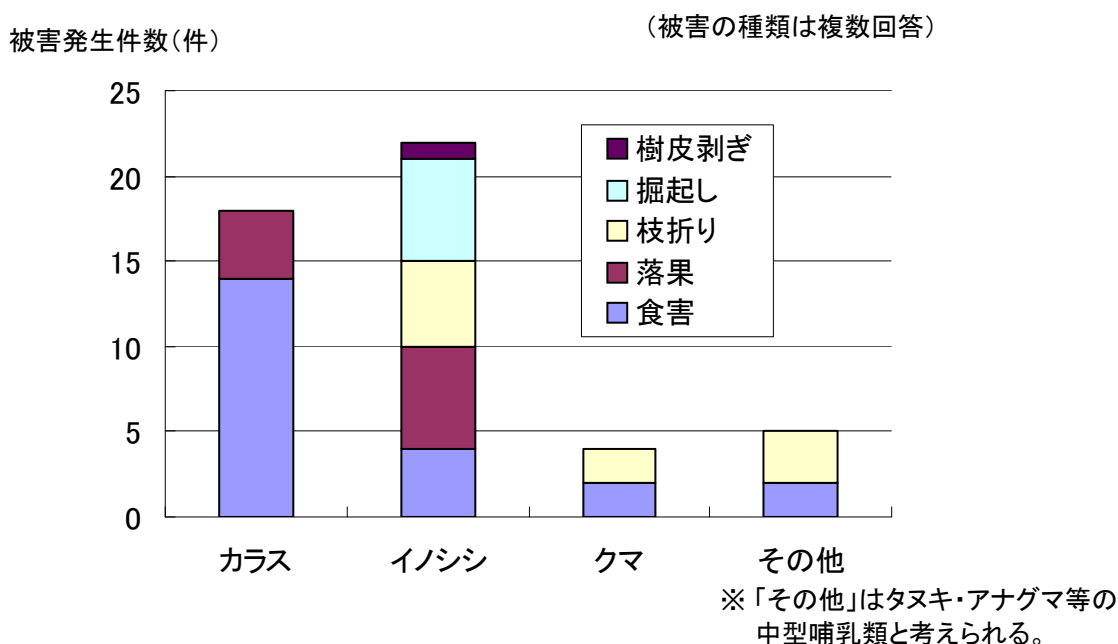


図1. 被害の種類と発生件数(鳥獣別)

②梨被害の発生時期

- 5月中旬からカラス被害(落果)が発生し始める。
- イノシシ被害(掘起し・枝折り・食害等)は6月下旬から、クマ被害(食害・枝折り)は7月から発生する。
- タヌキ・アナグマ・テン等による食害は7月から発生する。

⇒◇カラス対策は遅くとも5月まで、イノシシ・クマ対策は6月までに行うこと！
◇被害は長期間続くことから、馴れが生じにくい対策(P5を参照)が必要

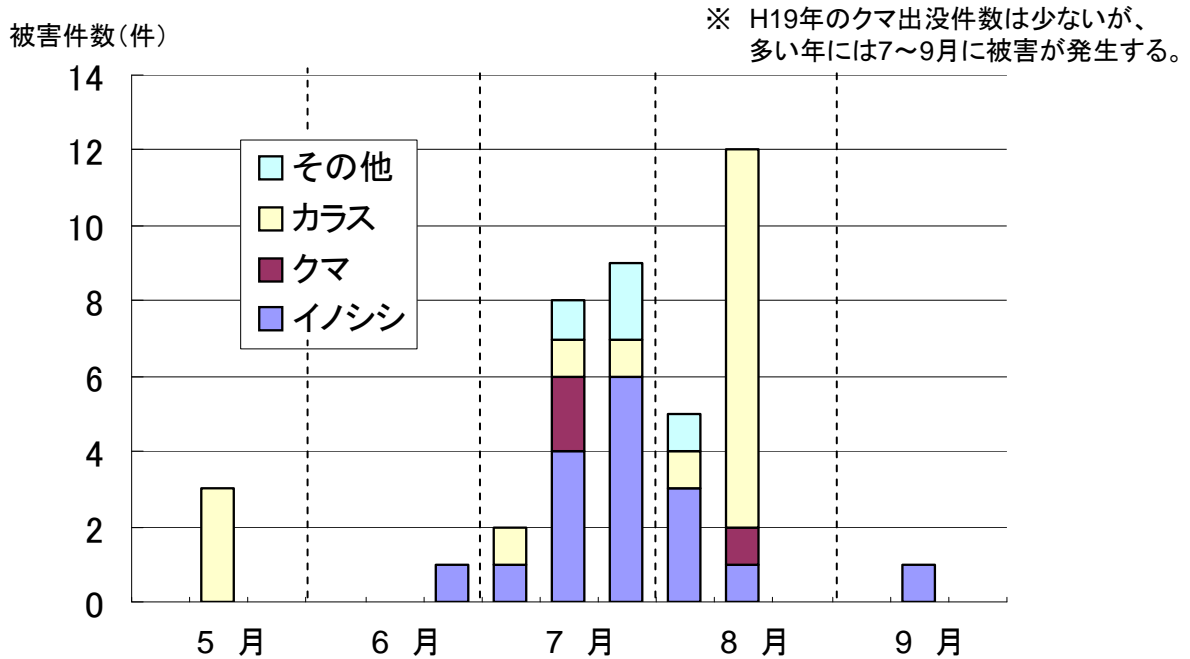


図2. 月ごとの鳥獣別被害発生件数の推移

※ その他はタヌキ・アナグマ等の中型哺乳類と考えられる。

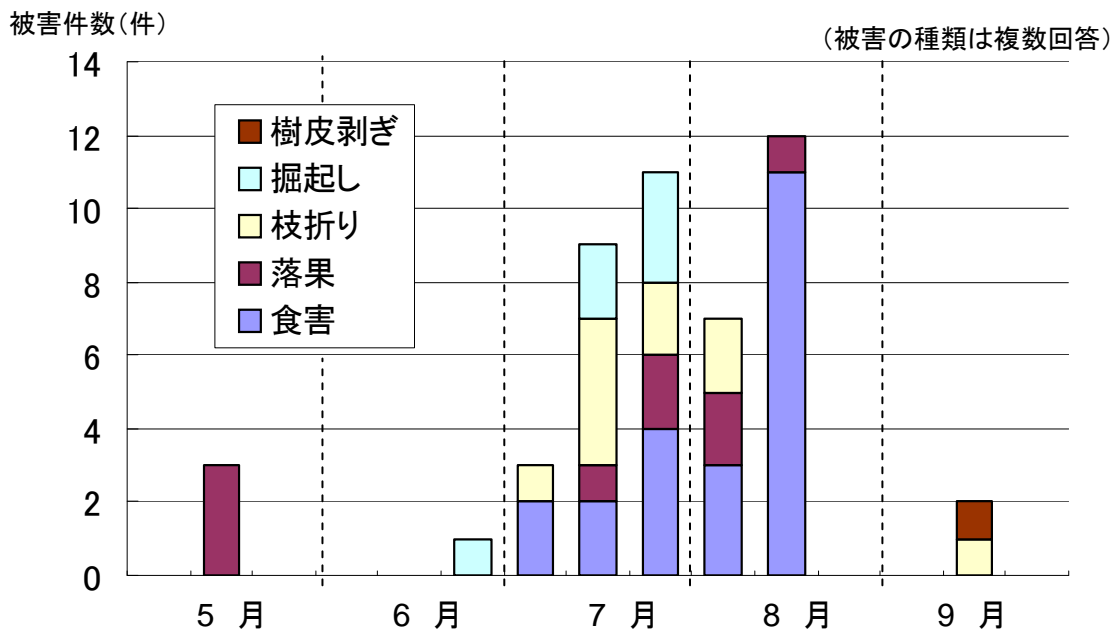


図3. 月ごとの被害別発生件数の推移

③梨園の鳥害(カラス)対策

- 爆音器等の防鳥機器、防鳥テープ等は馴れが生じやすく、効果が低い。
- 一つの対策よりも、いくつかの対策を組合せると、効果が得られやすくなる。
(短期間であれば、対策の組合せや入れ替えで、効果が得られる場合がある。)

⇒ **馴れが生じにくく、効果が高い対策(P5を参照)を組合せる!**

- ◇ネット(漁網・防鳥ネット等)・テグスの設置
- ◇銃による捕獲・追払い
- ◇大型捕獲檻による捕獲
- ◇ロケット 花火による追払い
- ◇農作物の残渣等の処理

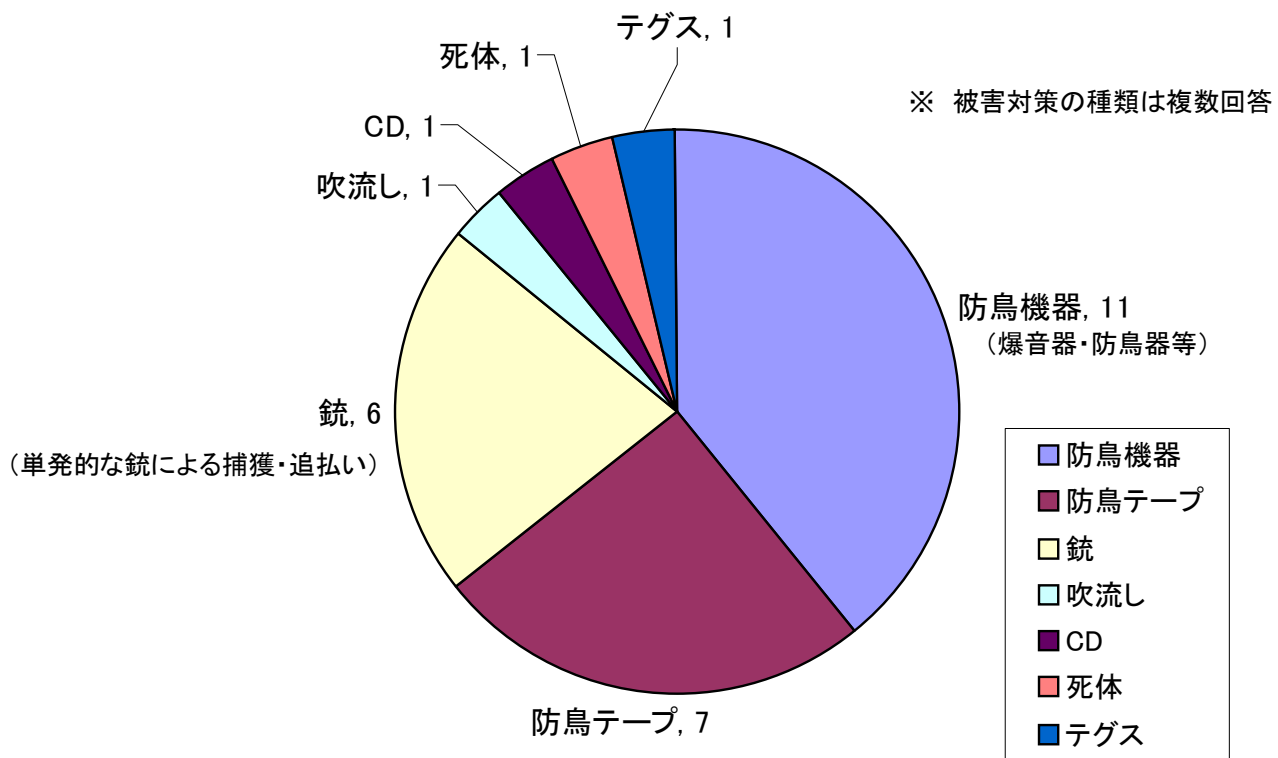


図4. カラス対策別の被害報告件数

(被害報告があった梨園で実施されている対策別件数です。)

④梨園の獣害(イノシシ・クマ等)対策

■電気柵・ネット柵・トタン柵等で被害が発生している。

⇒侵入防止効果が高く、維持管理が容易な柵の設置が必要！

「ネット柵」や「トタン柵」では、イノシシやクマの被害を防ぐことは困難
 例：イノシシ→「ワイヤーメッシュ柵」、「金網柵」など
 クマ →「シシ垣くん(猪・熊タイプ)」

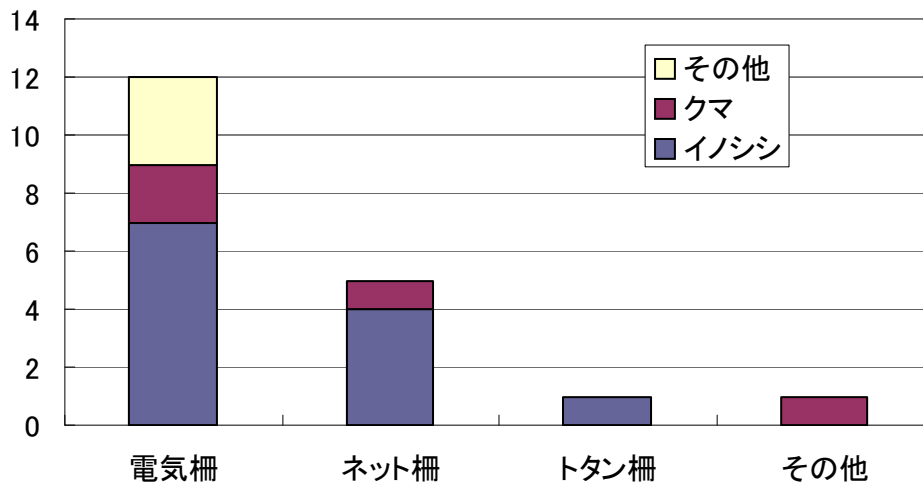
■効果が高いとされる電気柵であっても、被害が発生。

⇒電気柵は漏電防止が不可欠(※ 草刈り・除草は必須)

シシ垣くん(ワイヤーメッシュ柵の上部に電気柵を取り付ける)を設置することで、漏電しにくくなります。

被害報告件数(件)

(対策の種類は複数回答)



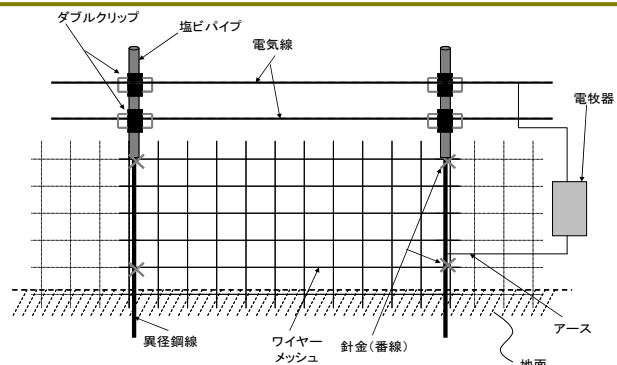
※・獣種の「その他」はタヌキ・アナグマ等の中型哺乳類と考えられる。
 ・対策の「その他」は、障害物を果樹木に設置し、登りにくくする対策を示す。

図5. 対策(侵入防止柵等)別の被害報告件数(獣類)

(被害報告があった梨園で設置されている侵入防止柵の種類別件数です。)

梨被害を防ぐには、複数の獣種の侵入を防ぐ対策が必要！

⇒シシ垣くん(猪・熊タイプ)、ワイヤーメッシュ柵と電気柵の複合柵



〈カラス対策の方法〉

■ カラスの侵入を防ぐ

- ◇ ネット(防鳥ネット・漁網など)を設置する
- ◇ テグスを上部に張る
 - ※ テグスはカラスの見えにくい色(透明や黒っぽい色)を使う。
 - 黄色の糸はカラスによく見えて、効果がない!



△側面にネット(漁網)、上にテグスを設置した果樹園

■ カラスを追払う

- ◇ 銃による捕獲・追払い
- ◇ ロケット花火などによる追払い
 - ※ ロケット花火も人が打ち上げる方が効果がある!



△銃による捕獲・追払い

■ 増えすぎたカラスを減らす

- ◇ 銃による捕獲
- ◇ 大型捕獲檻による捕獲
 - ※ 捕獲檻はなるべく大型(4m×4m、高さ3m程度)のものを、一年中カラスのいる場所に設置する。
 - (果樹園・畑では、カラスを引寄せするため設置しないこと!)



△カラス用の大型捕獲檻

■ カラスの餌場をなくす

- ◇ ナシの落果やスイカの摘果、クズ野菜などの処分
- ◇ カラスの餌場になりやすい施設(例:管理不足の畜舎など)での侵入防止
 - ※ カラスは3日間程度、餌を食べられないと死んでしまう。
 - 餌場を作らないことが、カラスの数と被害を減らす一番の対策!

表) 効果の高い対策と低い対策(鳥取県内の事例から)

区分	使用した追い払い用具等	効果
音声	●爆音器	慣れを生じる → 効果なし
視覚	●ビニール片・金属プレート・CD など ●目玉模様 ●かかし・マネキン ●カラスの模型・死体 ●防鳥テープ	慣れを生じる → 効果なし
音声 +視覚	●模型打上げ装置	
磁力	●磁石	→ 効果なし
遮断 飛来妨害	○テグス ○ネット(多目的防災網、防鳥ネット)	最も効果あり
攻撃的な 追い払い	○人によるロケット花火の発射 ○自動ロケット花火発射装置 ○エアガン	組み合わせ(併用)により効果あり ※ 単独の用具では慣れを生じる。
本物の銃による捕獲との相乗効果が大きい		
捕獲	○銃による有害捕獲 ○捕獲檻(カラス箱ワナ)による捕獲	特に、追い払いに効果あり 生息密度の低下に効果あり

○ ⇒ 効果の高い対策、 ● ⇒ 効果がない、効果が低い対策